

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（教育芸術社「MOUSA 1」、教育芸術社「The Basics of Music」、教育出版「Music Navigation」）

教科 芸術 の目標：芸術の幅広い活動を通して、音楽における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊

科目 音楽 I の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	題材「校歌」 【知識及び技能】 歌唱表現に関する基本的な知識、技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(ア)ウ(ア) ・教材 楽譜、ピアノ	○			・歌詞を理解し、覚えようとしているか。 ・曲種にふさわしい発声ができているか。 ・自分なりに音楽を表現しようとしているか。 ・楽譜に忠実に歌唱しているか。 ・主体的に歌唱表現に取り組んでいるか。	○		○	5
	単元「ソルフェージュ」 【知識及び技能】 初歩的な音楽理論を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽理論について学ぼうとしている。	・指導事項 A表現 (2) 器楽イ(イ)ウ(イ) ・教材 「The Basics of Music」、プリント		○		・楽譜に記された音程とリズムを理解しているか。 ・楽譜を見て音程を読んだり正しいリズムで発音したり手を打ったりすることができるか。 ・コール&レスポンスやカノンを行いながらリズムアンサンブルをたのしむことができるか。	○		○	2
	単元「音楽鑑賞の仕方」 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味を考える。	・指導事項 B鑑賞 (1) 鑑賞ア(ア)イ(イ)イ(イ) ・教材 「MOUSA 1」、DVD、CD、ピアノ、一人一台端末、ICT機器			○	・楽曲の「音楽を形づくっている要素」を感覚し、感受したと関わらせて音楽の価値について述べるができるか。 ・楽曲の背景や歌詞の意味などと音楽の関わりについて自分なりに意見を持つことができるか。	○	○	○	7
	単元「キーボード演奏」 【知識及び技能】 曲にふさわしい双方、体の使い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(イ)ウ(イ) ・教材 「MOUSA 1」、楽譜、ピアノ、キーボード、ICT機器		○		・鍵盤楽器の基本的な奏法を理解し、演奏することができるか。 ・楽譜を読んで鍵盤楽器で演奏することができるか。 ・二声以上のパートを独奏することができるか。 ・リズムを理解して演奏することができるか。			○	8
2 学 期	題材「イタリア語古典歌曲」 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景とのかかわりについて理解する。曲種にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(イ)ウ(イ)ウ(イ) ・教材 「MOUSA1」、ピアノ、CD	○			・イタリア語の発音を活かして歌唱表現することができるか。 ・自己のイメージをもって歌唱表現することができるか。 ・主体的に音楽を運んでピアノとともに表現しようとしているか。 ・良い発声で伸びやかに歌唱することができるか。	○	○	○	5
	題材「ヴォイスアンサンブルに挑戦しよう。」 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解し、その成果を技能として発揮すること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(イ)ウ(イ)ウ(イ) ・教材 「MOUSA1」、ピアノ、CD、一人一台端末、ICT機器	○			・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解できているか。 ・曲種にふさわしい発声・言葉の発音・身体の使い方を身に付け、表現形態の特徴を活かして歌唱しているか。 ・得た知識や技能を自分なりに表現できているか。	○		○	
	題材「子どものための音楽を作ろう」 【知識及び技能】 今までに学んだ音楽の知識を生かし、音楽を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 音の特徴及び音楽の特徴を自身のイメージする音楽に向けて創意工夫	・指導事項 A表現 (3) 創作アイウ(イ)イ(イ) ・教材 「MOUSA 1」、「The Basics of Music」、楽譜、ピアノ、キーボード、一人一台端末、ICT機器			○	・創作する音楽について、自分なりのイメージを持って創作活動に取り組んでいるか。 ・音素材・音を連なり、音階や音程などの特徴について、表したいイメージと関わらせて創作できているか。 ・自身が工夫した点について、言語表現できているか。			○	5
題材「クラシックギター」 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、正しいギターの奏法や身体の使い方を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持って器楽表現	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(イ)ウ(イ)ウ(イ) ・教材 「MOUSA 1」、「The Basics of Music」、プリント、楽譜、ピアノ、ICT機器			○	・クラシックギターについて興味関心を持ち、楽器の音色や特徴を理解し味わおうとしているか。 ・クラシックギターの基本的な奏法を理解し、演奏することができるか。 ・奏法の違いによる音色や効果を理解し、弾き分けることができるか。 ・二声を独奏することができるか。	○		○	6	
題材「曲種に応じた発声」 【知識及び技能】 様々な曲種に応じた歌唱法について理解し、そのうちの1つ以上について発声、言葉の発音、身体の使い方について身に付けることができる。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(イ)ウ(イ)ウ(イ) ・教材 「MOUSA 1」、ピアノ、一人一台端末、ICT機器	○			・様々な歌唱法について理解することができるか。 ・自己のイメージしたことを表現することができるか。 ・他のパートとのハーモニーを聴きながら歌唱することができるか。 ・各パートの役割を理解して歌唱することができるか。	○		○	8	
									合計	46

